

東北地方 1か月予報

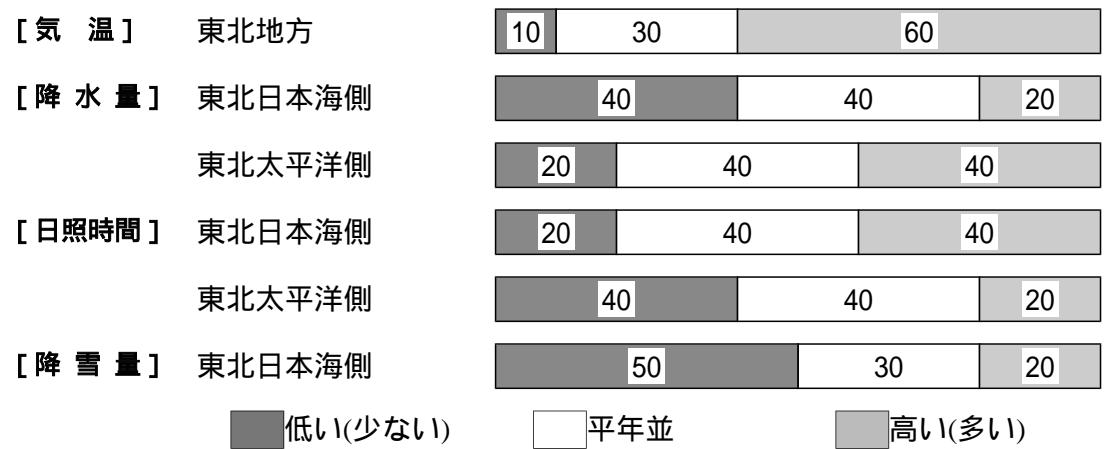
(1月20日から2月19日までの天候見通し)

平成19年1月19日
仙台管区気象台発表

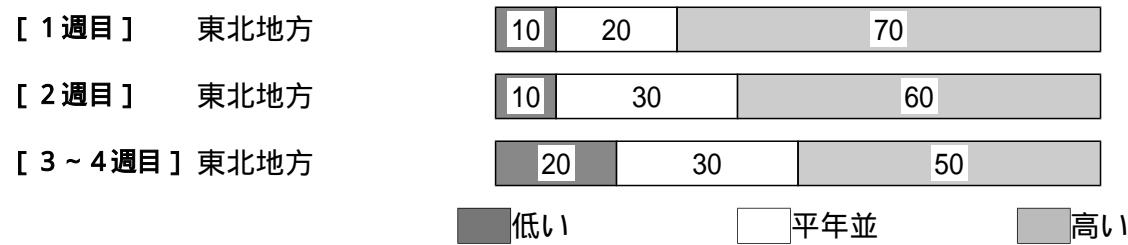
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
冬型の気圧配置は弱く、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べて曇りや雪または雨の日が多いでしょう。
平均気温は、高い確率が60%です。降水量は、東北日本海側では平年並または少ない確率とともに40%、東北太平洋側では平年並または多い確率とともに40%です。日照時間は、東北日本海側では平年並または多い確率とともに40%、東北太平洋側では平年並または少ない確率とともに40%です。東北日本海側の降雪量は少ない確率が50%です。
週別の気温は、1週目は高い確率が70%、2週目は高い確率が60%、3~4週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月	:	1月20日(土) ~ 2月19日(月)
1週目	:	1月20日(土) ~ 1月26日(金)
2週目	:	1月27日(土) ~ 2月2日(金)
3~4週目	:	2月3日(土) ~ 2月16日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月26日

3か月予報：1月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.7	139.8	69.6	258	-1.8	-2.0	-1.5
深浦	-0.7	85.0	42.7	136	-0.9	-1.1	-0.6
むつ	-2.0	92.4	90.4	197	-2.0	-2.2	-1.9
八戸	-1.4	56.2	141.9	118	-1.6	-1.8	-1.3
秋田	-0.3	101.6	59.6	140	-0.5	-0.7	-0.2
盛岡	-2.2	53.3	137.6	116	-2.5	-2.6	-2.0
大船渡	0.4	52.8	156.4	31	0.2	0.1	0.6
宮古	-0.2	73.5	169.3	70	-0.3	-0.5	-0.1
仙台	1.3	42.4	164.7	38	1.1	0.9	1.4
石巻	0.4	39.3	179.5	17	0.1	0.0	0.6
山形	-0.7	74.2	100.3	173	-0.9	-1.0	-0.5
新庄	-1.4	168.5	52.4	288	-1.6	-1.7	-1.2
酒田	1.1	133.0	53.0	144	1.0	0.8	1.2
福島	1.3	46.9	154.5	83	1.1	0.9	1.5
若松	-0.8	74.9	97.2	187	-1.0	-1.2	-0.7
白河	0.0	32.9	170.1	56	-0.2	-0.4	0.2
小名浜	3.3	54.5	196.3	0	3.2	3.0	3.4

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.7	77～109	95～105	85～106
東北日本海側	-0.3～+0.7	88～105	90～111	91～107
東北太平洋側	-0.3～+0.7	65～110	98～103	80～109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.6～+0.9	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.6～+0.9	-0.6～+0.8	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.6～+1.0	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年1月19日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月20日~2月19日):

冬型の気圧配置は弱く、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べて曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が60%です。

1週目(1月20日~1月26日):

気圧の谷や寒気の影響により、東北日本海側は曇りで期間の中頃は雪の降る日があるでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心に晴れる日が多いですが、期間の終わりは気圧の谷の影響で曇りの見込みです。

平均気温は高い確率が70%です。

2週目(1月27日~2月2日):

冬型の気圧配置は弱く、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べて曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が60%です。

3~4週目(2月3日~2月16日):

冬型の気圧配置は弱く、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べて曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

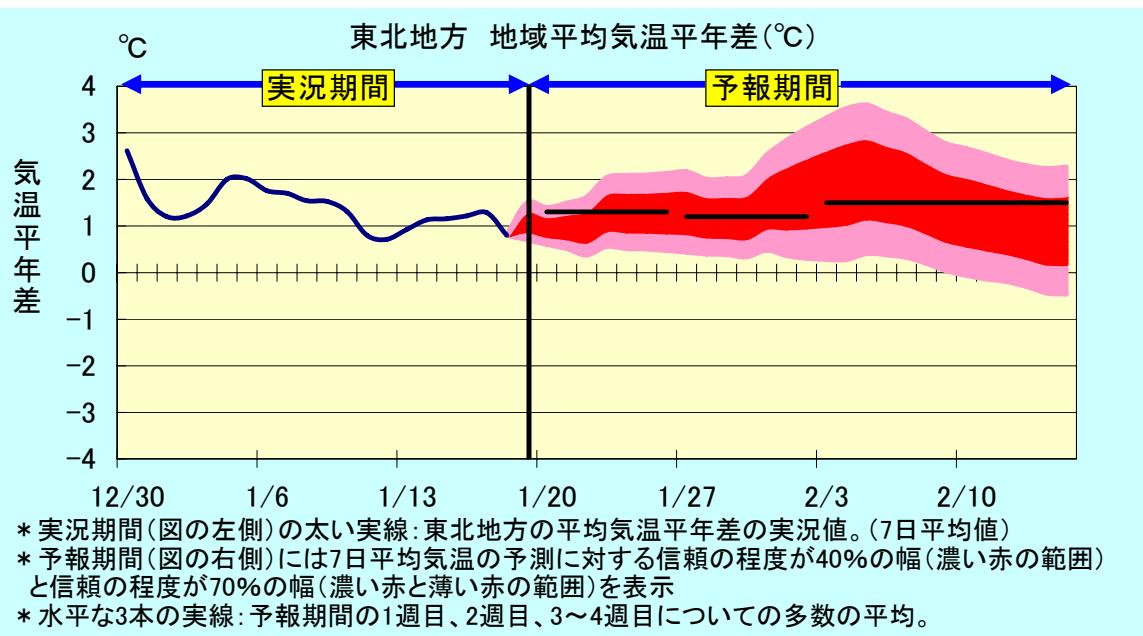
平均気温は高い確率が50%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.3日	1.1日	1.3日	2.9日
東北太平洋側	18.4日	4.4日	4.8日	9.2日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

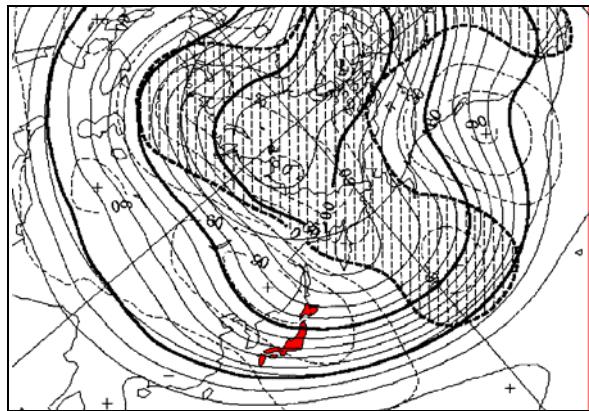
数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに平年を上回る予想となっている。なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近はユーラシア大陸から続
き中国東北区に中心を持つ強い正偏差に覆われ
ている。極からカムチャツカ半島付近と日付変更
線付近の太平洋中部にかけては負偏差が分布。こ
のため、持続的な寒気の南下はない見込み。

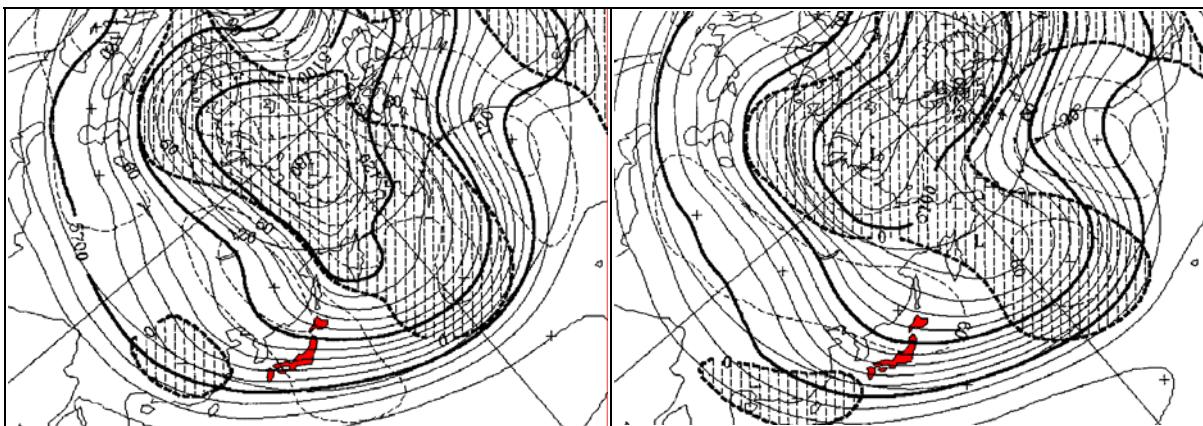
1週目: カムチャツカ半島付近では明瞭な負偏
差だが、日本付近はバイカル湖方面から日本の南
東海上へ延びる正偏差に覆われている。このため、
東北地方への強い寒気の南下はない見込み。日本
の南岸には南西から北東に延びる降水域があり
(図略) 東北太平洋側でも曇りや雪または雨の日
がある見込み。



1か月平均 500 hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)

2週目: 日本付近は広く正偏差となるが、強い
正偏差域は1週目に比べ北日本中心となる。このため、東北地方は気温が高くなる可能性が大き
く、冬型の気圧配置も弱い見込み。



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

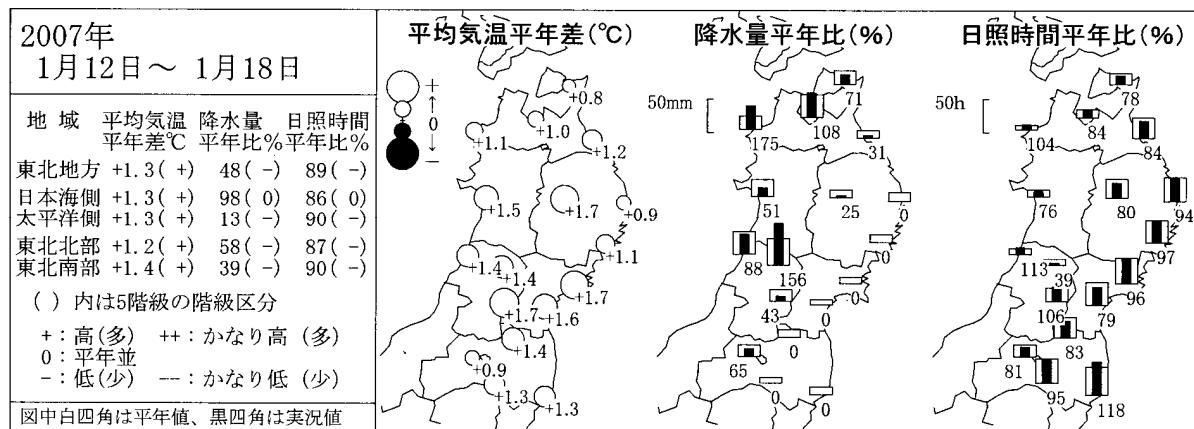
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (1月12日～1月18日) の天候の経過

期間の中ごろまでは、冬型の気圧配置となり東北日本海側では曇りや雪または雨となったところが多く、東北太平洋側沿岸では晴れのところが多かった。期間の終わりには冬型の気圧配置が弱まり、17日には本州南岸の前線の影響で東北日本海側南部で曇りや雨または雪となったところがあつた。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)